

広報

さなだまち

NO.391

2006
最終号 3

もうすぐ1年生！

あと少しで、桜の便りも聞かれ始めます。
この春1年生になる、町内保育園、幼稚園の子どもたち、99人が真田町最後の
広報の表紙を飾ってくれました。
新生上田市も1年生。スタートの春です。



さなだ保育園きりん1組



そえひ保育園さくら組



さなだ保育園きりん2組



いすみ幼稚園松組



すがだいら保育園あお組

ありがとう

菅平の空から

長の空から

真田町

傍陽の空から

本原の空から

特集 ありがとう真田町

それぞれの思い

この3月5日に真田町は、47年以上にわたる町としての歴史を閉じる。一万一千人以上の人が住んでいれば、その数だけ、町の思い出は、あるはず。それはその人の人生の思い出でもある。真田町最後の広報となる今月は、そんな、人それぞれの、真田町の思い出や、その人の人生、その時々感じた町の姿、そして、新しい市への希望などを聞いた。人それぞれの真田町への思いは、違つ。でも、同じ時に、真田町に住んでいたことは一緒。今、終わろうとする真田町に、ありがとうと言いたい。



おおくもとゆき 大久保元幸さん(大日向)

大日向小学校の、同級生は12人。わんぱくでしたね。

大 久保元幸さん。小学校2年生までは、大日向に小学校があつて、そこに通っていました。大日向の小学校の同級生は12人。わんぱくだったのをおぼえています。今、大日向小学校のグラウンドが、当時のまま残っているんですけど、昔は大きく感じたグラウンドが、今見ると小さく感じますね。



うちやまさこ 内山正子さん(四日市)

昔は外で子どもが、集まつて遊んでましたね。

ちょうど売り出していて、真田に来ました。私が、育ったところは、南佐久です。真田町は、寒さとかの気候が南佐久に似ていますね。

こちらで、仕事しながら、4人の子育てをしました。真田まつりのときは、樽御輿(たるみこし)を子ども会や、区の役員で作つて、子どもたちも楽しかったようです。でも、だんだん、



こばやしきょうこ 小林恭子さん(入軽井沢)

観光客が、上田や真田をめぐるようになればいいですね。

子育てでは、上田のほていやに行つてね、子どもに洋服なんか買つてあげると、喜んで、エスカレーターにのつて走り回っていたのをおぼえています。子どもは、うれしんだなと思つて、家族で行くのは楽しかったですね。合併して、みんなの力で、心がけていい上田市になればいいです。認知症とかならないように、グループホームとか行く前に、高齢者が集まつて、勉強したり、楽しく過ごせる場があればいいなと思います。高齢者福祉に力を入れて欲しいですね。

小林住子さん(赤井) 高齢者福祉に力を入れて欲しいですね。



小 林住子さん。町も昔に比べると、道路が良くなったと思います。子どものころは、畑なんか、人間が通るくらいの道しかありませんでした。真田氏歴史館の辺は、整備されていい所

小 林恭子さん。平成3年に真田町に嫁いできました。私は、歴史が好きで、真田町は、真田氏で有名な町という印象でした。そして、真田幸隆、昌幸、幸村が出た場所ということ、幸隆は、あまり知られていないんですけど、武田信玄や、上杉謙信とも並ぶよう

な名将だと思ひます。そんな名将の出た真田町は素晴らしいところだと思ひます。真田に来て、たんぼば文庫に入つて、児童書を近所の人たちで、回して読んでいました。こうして、子どものころから、本にふれられるのは、素晴らしいですね。こういうことも、真田町のいいところだと思ひました。合併したら、真田氏歴史館とか、真田氏にまつわる場所が、今までは、点だったものが、線でつながると思ひます。真田氏は、真田から出て、上田城を築いたということで、観光で来る人が、そういう所を巡れるようになれば、いいかと思ひます。

特集 ありがとう真田町 それぞれの思い



まさきえいじ 正木栄二さん(菅平)

子どもたちに、スキーの楽しさを伝えていきたいです。

正 木栄二さん。菅平で、生まれ育つて、小学校4年生から、ジャンプをやつてきて、2年前に競技を引退しました。子どものころから、冬になると遊びはス

今、指導者として、練習する子どもたちを見てみると、楽しそうですね。自分が、選手として、続けられたのも原点に、楽しいという気持ちがあつたからだと思ひます。これから、子どもたちに、スキーの楽しさを伝えていきたいですね。

海 瀬正之さん。

ここで、生まれ育つて、小さいころは、よく川で魚を取つて仲間と遊びましたね。真田町の合併当時は、真田中学校が、先に組合立のかたちで、合併していたから、自然と町になった感じだったかな。村から、大きな町になつて、誇りに感じたというか、

喜びが大きかったね。

昭和36年に結婚したんですけど、公民館結婚が、はやりだした、その早い方だったね。自分も青年団やっていたから、これからは、公民館結婚をすすめなければ、という考えもあって、友達に協力してもらって、やりました。

合併は、決まったことは、皆で、その形に向けて協力してかないといけないと考えています。今の広報がなくなるのは、寂しい気はする。広報は、歴史の積み重ねだから、一朝一夕にできるものじゃないからね。新上市市の広報も一歩ずつ、また、皆で協力もして、素晴らしい広報ができていくのではと思うね。

公民館結婚が、

はやりだした、

その早い方だったね。

海瀬正之さん（曲尾）



すると、市の中心から離れてしまうんですけど、今以上に過疎化しないで欲しいと、思っています。今、大日向に空いた土地がいっぱいあるんですね。去年花の種をたくさん採っておいたので、お話して、そういう土地にまかせてもらえればいいなと考えています。



青木和男さん（横尾）

三笠宮殿下の

やさしい言葉が

鮮明な記憶に

青

木和男さん。

町の出来事で印象に残っているのは、第1回の真田まつりです。NHKの真田太平記に出演した丹波哲郎さんと、小山明子さんが来て、町民7000人が集まりました。当時、横尾区では、大人御輿を、50人くらいで、運動公園までかついで行きました。あ



伊藤 恵さん（菅平）

サラエボ大会の年で、菅平の選手を応援していました。

伊

藤恵さん。

夫が、先に菅平で、ペンションを始めていて、新婚旅行から帰ってそのまま菅平に来て、今年で22年になりました。元々関西出身でしたが、

特集

ありがとう真田町
それぞれの思い

のときの熱気は相当なものでした。

もう一つは、平成5年の御屋敷公園、ふれあいさなだ館、アザレアンさなだの合同竣工式です。このとき、アザレアンさなだの玄関前で、出席された、三笠宮殿下と同妃殿下を迎えました。車から降りた殿下が、車イスのおばあちゃんに、気さくに、やさしい言葉をかけられたことが、今も鮮明に印象に残っています。

町内には、真田氏ゆかりの山城が幾つか残り、遊歩道も整備されています。横尾区では、尾引城の遊歩道にベンチや看板を設置しました。合併後も、この山城を後世に残していって欲しいと思います。

竹

鼻博さん。

間もなく7年になります。小さいころ、祖父母の稲刈りなんか手伝いに来ていたころに比べると、大畑の辺は、住宅が増えたと感じます。真田に住んでみて、水がおいしいと感じます。

町の柔道教室で、子どもたちに教えたり、町の体育指導員もしています。体育祭や、駅伝大会など体育指導員とし

菅平に来たのは、スキーが好きだったということです。菅平に来て、空気と水のおいしさには、驚きました。

最初は、旅行気分もあったんですけど、真田町に住んで入ってきていることに気付いたときでした。

菅平に来た昭和59年は、冬季オリンピックのサラエボ大会のあった年で、菅平出身の選手が出ていました。雪国でない所から来た私には、冬季オリンピックは、なじみの少ないものだったんですけど、毎日、わくわくして、応援していました。

合併して、町の有線電話とかが、上田ともつながれば、もっと使うかなと思いますね。

宮

腰ふみ子さん。

3年前に、一番上の子が保育園に入るのをきっかけに、夫の地元の本原に上田から越してきました。

来て、子育て支援センターを紹介してもらって、行ったら、とても感じがよくて、当時の上田にもあまりなかったもので、こういう所があるんだ



竹鼻 博さん（大畑）

子どもたちが、長くスポーツを続けて欲しいです。

て参加していますが、見てみると、真田町の人は、まとまりがあって、チームワークがいいなあと感じますね。

柔道教室に来る子どもたちは、厳しい練習でも、明るさがある、さっぱりしているなと感じています。小学生、中学生が、この先も長くスポーツを続けてもらえればと思います。厳しいこともあるかもしれませんが、がんばって欲しいですね。

飯

島弘美さん。

平成元年に中組に嫁いで来ました。



宮腰ふみ子さん（中原）

子育て支援センターはお母さんにとって、貴重な場です。

と、感動しました。センターには、子どもも遊びに行くんですけど、お母さんも、保母さんや、他のお母さんと話ができたりと貴重な場だと思います。若いお母さんに聞いてみても、そういう所を求めていると思います。

夫が、真田町で育ったので、真田町をすごく愛しているのが分かるし、夫の友達も、真田町が好きだというのが、分かります。そういうのは、子どもたちにも、伝えていきたいですね。

合併しても、真田独自のイベントも、大事にして欲しいです。あと、子どもが遊べる公園が、充実してもらえれば、いいなと思います。



飯島弘美さん（中組）

地域の食材での温かい給食はありがたいです。

真田町は、小さいながら、一体感のあるいい町だと思います。地域それぞれに、お祭りがあって、中組には、7年に一度の堤の御柱祭があります。お嫁に行った人や、親戚も、たくさん呼んで、盛大に盛り上げるお祭りです。

子育てをしていて、感じるのは、保育園から中学まで自校給食で、地域の食材を使っている、温かい給食を出してくれているのは、すごくありがたいです。子どもたちも、毎日それが楽しみで、学校へ行くようです。

子どもが、来年から高校に行くようになるんですが、傍陽は交通の便が悪いので、バスの本数が増えたり、料金が

大

森訓子さん。

生まれは、東御市ですが、転勤族の夫と仙台に長く住んでいて、夫が定年して、信州に住みたいということで、姉のいる真田町に来て、5年になります。

真田町に来て、こちらに嫁いでいる友達に誘われて、色々な催しや、会議に出席させていただきました。その中で感じたことは、どの会に行っても、皆さん広い心で受け入れてくれて、前から知っている友達のようにしてくれたのは、きっとこの町の気風なんだと思いました。

大日向は、住んでみると、皆さん人情があつて、素朴に自然に暮らしています。合併

広い心で受け入れて

くれるのが、この町の

気風だと思います。

大森訓子さん（大日向）



もう少し、安くなってくれば、助かります。

これからも、自然豊かな町なので、いい所は残して、子どもたちにとって、いい環境が続いて欲しいと思います。



村本 均さん（菅平）

お客さんとの連絡は、全部葉書。電話はなかったですから。

村

本均さん。

大正14年生まれで、81歳になります。

私の祖父が、信州新町から、菅平に来て、最初は炭焼きをしていたようです。大木を切つて、炭を焼き、松代に出していました。そのうち、群馬の方から種馬鈴薯がきて、まいたら、いい馬鈴薯ができて、それで夏冬暮らすようになったんじゃないかと思っています。私の父が民宿を始めたのが、

昭和3年。民宿といっても、くず屋根の家で、スキーヤーが来るので泊めて、明かりはランプです。昔のお客さんは、東京からスキー靴をはいて来ていました。お客さんとの連絡は全部、葉書。電話はなかったです。上田まで電車で来て、菅平口までは、バス。そこからは馬ソリで菅平まで登ってきていたね。



小田中晋さん（中原）

スポーツ、消防など
4地区で予選して
新市全体で決勝を：

小 田中晋さん。
平成7年に丸子町から
真田に来ました。

スポーツが好きで、年間を通じて、卓球やソフトバレー、野球、ソフトボールなど、町の大会に出場しています。

今年度は、中原区の消防部長をしていましたが、町最後の記念に、駅伝大会に、中原消防部で出場しました。練習は、苦しかったですが、結果以上のものを得たように感じます。

消防のポンプ操法大会では、中原部は、ここ5、6年入賞。以前は、10位以下というところから、努力して今年は2度目の3位入賞を果たしました。まだ、1位、2位の目標は、ありますが、その思いを後輩につなげていけたらと、考えています。

新上田市になると、規模が大きくなるので、色んなスポーツ大会、消防のポンプ操法大会など、4地区で予選をして、新市全体で決勝トーナメントを行えば、いいんじゃないかと思っています。

清 水昭一さん。
79歳になります。
ここ40年から、50年の間で、暮らしのスピードがすごく変わったと感じるね。
道路も変わったし、水道が



宮原容子さん（菅平）

当時の電話は、
20回線の交換台に、
7戸の加入者でした。

宮 原容子さん。

昭和21年に16歳で、菅平郵便局に勤め、それ以来、菅平に来て60年になります。

当時の建物は、窓も木枠でしたから、菅平の雪は、ちょっとしたすき間からでも、容赦なく家に舞い込み、暖房も完全なものがなくて、朝など、自分の寝息で、ふとんのへりが凍っていたことをおぼえています。

菅平に郵便局ができたのは、昭和11年。翌年には、郵便局で、電信電話業務が始まり、電話交換事務が始まったのは、昭和14年です。私が、菅平郵便局に勤めたときは、20回線の交換台に、7戸の加



清水昭一さん（上原）

暮らしの
スピードが
変わりましたね。

できて、その後、電話。昔は、テレビ、ラジオなんてなかった。自然の音しか無かったです。それから、家庭の中では、洗濯機、冷蔵庫とかのロボットだよ。最近はコンピューターも出てきたし。ますます

特集
ありがとう真田町
それぞれの思い

入者でした。当時の長村郵便局は、5回線の交換台に、加入者2件。その1番が長村役場で、2番が長農協という時代でした。
菅平の魅力は、四季の移ろいの美しさだと思っています。菅平の発展とともに、自然が失われていきます。これから、自然を大切に考えて、色々なことを進めてもらえば、と思います。



岡嶋久雄さん（曲尾）

合併促進法
期限内の合併は
できませんでした。

岡 嶋久雄さん。

明治43年の生まれで、95歳です。傍陽村時代から、真田町発足後まで議員をやっていた、合併推進委員をしました。当時、上田市公会堂で、県から合併の理由や、方法など

暮らしのスピードがあがっていくと感じます。
昭和25年には、区長をやりました。そのときに、本原村の1回目の成人式があったのを覚えています。当時の本原村の役場は、今の本原小学校校門の階段の辺にあつて、小さい役場でしたね。



大島 健さん（菅平）

合併をどうプラスにもっていけるか
だと思っています。

大 島健さん。
ペンションにაცოგれていたことと、山登りをしていたの

の説明会があり、町村の適正規模は、1万人から2万人ということでした。
昭和27年に長、傍陽、本原三か村合併推進委員会が発足しました。三地区持ち回りで委員会が行われ、一旦は、いよいよ合併調印の日を決めようというところまできたときに、長には財産組合があつて、住民投票の結果、反対ということになってしまいました。
こうして、3年の合併促進法期限内での合併はできず、その後の合併は、国からの財政支援のない合併となりました。問題は、財産区の財産を持ち込むか否かでしたが、この硬直状態を解消するため、県が「財産区の財産は当分の間持ち込まない」という折衷案を提示し、話し合いが再開され、真田町が誕生しました。

堀 内ちよ江さん。

昭和40年に真田町に嫁いで来ました。
そのころは、道路も舗装でなく、自動車も、お店にあるくらいでした。りんごや、ももを生産する農家が多くて、どの家にもガーデントラクターがありましたね。
子育て中の思い出は、真田

で、最後は信州で暮らしたいと思い、昭和60年に東京から、菅平に来ました。

菅平は、年2回商売できることと、あまり派手な観光地でもなく、でもすごい山村でもなく、ちょうど暮らしやすい雰囲気を感じたので、選びました。

来た当時と比べると、道路も広く、良くなりましたし、グラウンドも増えました。来たころ、雪の日に車が動かなくなつて、なんでこんな所に来たんだろうと、思うこともあれば、ダイヤモンドダストや、夕焼けを見て、ああいい所に来たと思うこともありました。思い出になると、みんないい思い出です。

合併して、どうなるかわからないけど、合併したことを、前向きにとらえて、プラスにもっていけるか、どう有効活用していくかということじゃないでしょうか。

森 山明子さん。
地元の大学に行ったこともあり、地元について、上田で保育士をしています。
県外に行った友達も、戻ってきている友達が多いですね。合併の話になると、寂しいね



堀内ちよ江さん（田中）

人は、努力すれば、
夢や願いは、いつかは
叶うんだなと：

中に音楽の長井先生がいて、音楽に力を入れていました。3年間音楽会で毎年お母さんの歌を合唱で歌ってくれて、素晴らしい合唱に涙が出たことをおぼえています。

56歳のころに、祖父母もみとつて、子どもも社会人になったので、これからは、好きなことをやりたいと、長年思っていた登山を始めました。今までに北アルプスは、だいたい登りました。人は、夢とか願いに向かって努力すれば、いつかは叶うんだなと、とても感じています。

合併して、市になつても、今までと変わらないね。よかったねと言えるようでありたいと思っています。

閉町記念式典



功労者の方を表彰

2月18日に行われた閉町記念式典で町功労者の方が表彰されました。(敬称略)

特別功労表彰

★保健衛生功労

小玉眞夫 内科医師として地域医療の進展と学校医として児童生徒の健康管理に尽くされた功労

大井利男 歯科医師として地域医療の進展と学校歯科医として児童生徒の健康管理に尽くされた功労

一般功労表彰

★自治功労(7名)

町議会議員として自治の発展に尽くされた功労

佐藤公至

高寺孝美

中澤盛雄

三井博文

坂口良平

柄澤衛(3月3日付表彰)

町助役として、自治発展に尽くした功労

大塚貢(3月3日付表彰)

町教育長として、教育行政発展に尽くした功労

★防犯功労

飯田信一

町防犯指導員として地域の防犯に尽くされた功労

★消防功労

宮入茂

町消防団長として地域防災と消防団活動の発展に尽くされた功労

★保健衛生功労

小林忠正

内科医師として地域医療の進展と学校医として児童生徒の健康管理に尽くされた功労

★交通安全功労(4名)

萩原信一

倉島孝成

上田交通安全協会真田部会役員として交通安全の推進に尽くされた功労

横沢峯子

合葉詔次

町交通指導員として交通安全の推進に尽くされた功労

★産業功労(5名)

伊藤忠治

町農業委員会会長として農業の振興に尽くされた功労

寺澤宏幸

坂口未男

農業団体役員として農業の振興に尽くされた功労

小林豊明

小島好憲

菅平高原観光協会会長として観光の発展に尽くされた功労

★教育功労(4名)

鈴木優

公民館長及び青少年健全育成町民会議会長として町社会教育の振興に尽くされた功労

山田昭一

町社会教育指導員及び文化財調査員として社会教育の振興に尽くされた功労

佐藤忠睦

町青少年健全育成町民会議会長及びスポーツ教室指導者として社会教育の振興に尽くされた功労

佐藤和雄

町青少年健全育成指導員会長として社会教育の振興に尽くされた功労

★文化功労(4名)

石和一夫

町文化財調査委員長として文化の振興に尽くされた功労

酒井依

町文化財調査委員及び町誌編集主任として文化の振興に尽くされた功労

常田軍三

戦国武将真田氏に関する著作活動により真田氏顕彰と郷土愛の高揚に尽くされた功労

坂口益次

町文化財調査委員として文化の振興に尽くされた功労

★体育功労(5名)

久保孝則

町体育協会会長として体育の振興に尽くされた功労

塩沢憲子

山口賢一

三井甲子郎

清水利夫

町体育指導委員長として体育の振興に尽くされた功労

各団体に贈られる功労(8団体)

★体育功労

菅平高原スキークラブ

スキーの振興と観光客の安全確保に尽くされた功労

★保健衛生功労

真田町食生活改善推進協議会

地域食生活の向上と健康施策の推進に尽くされた功労

★文化功労(5団体)

上原三ツ頭獅子保存会

地域文化の伝承と普及に尽くされた功労

菅平高原太鼓保存会

地域文化の向上と後進の育成に尽くされた功労

ふるさと味の研究会

特産品の研究開発と郷土料理の継承と普及に尽くされた功労

信州真田鉄砲研究会

火縄銃稲富流鉄砲術の伝承と真田氏の顕彰に尽くされた功労

信州真田六文銭太鼓保存会

真田氏の活躍を太鼓で表現しつつ顕彰し地域文化の振興に尽くされた功労

★産業功労

三島平活性化組合

活性化組合の草分けとして荒廃地や里山の整備と人づくりに尽くされた功労

★感謝状(3団体)

特別医療法人恵仁会

へき地無医地区に菅平高原クリニックスを開設され、地域医療の充実に献身的にご尽力

真田町建設業協会

災害における応急復旧出動と除雪にと住民福祉の向上に献身的にご尽力

真田町上下水道協会

上下水道の普及と災害における応急復旧出動にと献身的にご尽力

92

町理事者ごあいさつ



真田町長 箱山好猷

と潤いのある生活ができ、地域が持続的に発展して行くため、上田市、丸子町、武石村との合併を選択しました。

皆さんとともに、取り組んできたこの市町村合併は、地方分権時代における新たな地域の創造であり、地域振興の礎となるものと確信しております。この度の四市町村合併への道を成し得たことは、大きな節目となるこのような時期の町政の責任者として、議会での議論とご判断をいただき、的確な選択ができたものであると捉えており、力を振り絞って舵を執ってきた成果であると考えているところであります。

新生上田市の煌々たる未来への飛躍を祈念申し上げますとともに、この故郷「真田の郷」が培ってきた歴史、伝統、文化を礎に、新市のなかで個性豊かに光り輝く地域づくりに、全ての皆さんが心をひとつにして邁進いただき、新しい課題を解決しながら、この地域に暮らす人々が、活力

本町の歴史は、「昭和の大合併」として進められた取り組みのなか、長野県知事の合併勧告、その後の合併に向けた上小地方事務所の調停を経て、長村、傍陽村、本原村の三力村の合併による町制施行により始まりました。

このような社会全般を通じて大きな転換期のなか、多様な住民要望に対応し、新たな課題を解決しながら、この地域に暮らす人々が、活力

新生上田市の煌々たる未来への飛躍を祈念申し上げますとともに、この故郷「真田の郷」が培ってきた歴史、伝統、文化を礎に、新市のなかで個性豊かに光り輝く地域づくりに、全ての皆さんが心をひとつにして邁進いただき、新しい課題を解決しながら、この地域に暮らす人々が、活力



柄澤 衛 助役

この度の合併により、真田町助役を退任いたします。昭和33年、真田町発足の年に傍陽村役場に就職以来、村、町職員として、48年。人に恵まれ、仕事にも恵まれ、充実した公務員生活を過ごさせていただきました。この間時代が大きく変革する中で、町の節目節目に貴重な体験を得て、今日まで毎日が充実し、感謝の日々でありました。その集大成として取り組んだ合併問題。時にはくじけそうになる程の厳しい課題でしたが、多くの町民皆様の理解を得る中で成就し、地域の限らない発展を思い、感無量であります。

今、真田町の児童生徒は、ここ数年万引きも含めて非行犯罪ゼロです。学力テストも、どの学校も全国平均より極めて高いです。この素晴らしい誇りに、新生上田市、そして真田町のさらなる発展に生かしてもらいたいと思います。



大塚 貢 教育長

微力な私を長い間、教え支え、励ましていただき、本当にありがとうございました。教育長退任に当り、心から感謝申し上げます。

思い返せば、平成14年2月、第39回全国中学校スキー大会が、千五百余名の参加のもと、菅平で行われました。全国の皆さんから、このような心のもった大会は初めてと言われました。菅平、真田中の生徒先生、スキークラブ、観光協会、旅館組合、町民ボランティアの皆さんが、全力を尽くしてくれた結果です。町民皆さんの素晴らしいです。

■武石村

信州武石 福寿草まつり
武石から春一番をお届けします
雪が残る大地を福寿草が静かに咲き始めます。力強い黄色のじゅうたんとなり、見る人に感動を与えてくれます。
期間 3月中旬～4月上旬（予定）
期間中に来園された方には「武石温泉うつくしの湯」の入館割引券を差し上げます。
会場 唐沢小原地区福寿草群生地
問 福寿草まつり実行委員会
☎85－2828

■丸子町

すいせんまつり
近くに休憩所と野外トイレも完備されています。お弁当を持って、家族でスイセンのお花見はいかがでしょう。
期間 4月1日（土）～16日（日）
※開花時期により変更の場合あり。
入園料 無料
販売 切り花（5本100円）、球根（1ポット150円）
問 信州国際音楽村 ☎42－3436

■上田市

上田城千本桜まつり
期間 4月開花～4月29日（土）
内容 ライトアップ…1日（土）～23日（日）
／イベント「遊芸の宴」…15日（土）・16日（日）
／物産展・ふるまい鍋…8日（土）～18日（火）
／上田真田まつり29日（土）
※このほか千本桜俳句会・千本桜写真コンテスト、博物館・真田太平記館特別展、吹奏楽の演奏・神輿など、たくさんイベントを計画中です。
問 上田市観光課 ☎23－5408

■真田町

ナイトツアースキーin菅平高原
北アルプスの夕景を楽しみながら、菅平高原根子岳中腹の小屋まで歩き、滑り降ります。中腹まで徒歩1時間弱です。雪山の魅力を手軽に安全に体験しましょう。
日時 3月18日（土）午後3時～4時受付
受付場所 菅平高原奥ダボスグレンデ駐車場
参加費（夕食付）大人2000円・小学生500円
※ヘッドライト等各自お持ちください。
問 菅平高原観光協会 ☎74－2003

新市誕生まで
あと**5日**（3/1現在）



暖かな日差しが冬の終わりを告げる3月下旬、信州国際音楽村の畑にスイセンの花が芽吹き始めます。音楽村の南斜面を黄色く彩るスイセンは約10万本。音楽村職員や地元住民のみなさんが、毎年手入れをして育ててきたものです。例年4月上旬に開催される「すいせんまつり」では、切り花や球根の販売、スイセンの花びら染め体験教室などが開かれ、昨年はリコーダーやハーモニカの演奏会もありました。音楽村から届く開花の便りは、丸子に春が訪れた証（あかし）です。

まるこ

春の便り

●音楽村に咲く10万本のスイセン

真田町では、3月6日の新市発足に向けて、合併記念樹を、植えました。植えた場所は、町内すべての区と、公共施設。
記念樹は、淡い紅色の花が美しい紅ヤマボウシと、早春に咲く花が美しいコブシ。それから真田町の町花であるヤマツツジの3種類です。町内36の区が、昨年10月に3種類から1本を選び各地区に植えました。



の記念樹が、やがてめぶき、美しい花が咲くことでしょう。

さなだ

新市への希望がめぶく

●合併記念樹



なんと、一斉にソメイヨシノが開花。その姿を見ようと多くの人が訪れます。また、夜はライトアップされ、日中とは一味違った夜桜が楽しめます。真田一族が戦国の世に夢を描いた上田城。4月の「上田城千本桜まつり」では、そんな歴史に思いめぐらせてはみるのはいかが？

うえだ

お城を華やかに彩る

●上田城千本桜

4月、冬の風に耐えてきた桜の木のつぼみが開き、上田城跡公園全体がピンク一色に彩られます。上田に本格的な春を告げる「千本桜」の季節です。櫓門脇のしだれ桜が満開に

なると、一斉にソメイヨシノが開花。その姿を見ようと多くの人が訪れます。また、夜はライトアップされ、日中とは一味違った夜桜が楽しめます。真田一族が戦国の世に夢を描いた上田城。4月の「上田城千本桜まつり」では、そんな歴史に思いめぐらせてはみるのはいかが？

たけし

春の訪れをつげる黄色いジュータン

●福寿草群生地



新市誕生の3月6日まであつかわずか。

春の訪れとともに四つのまちは、新上田市に生まれ変わります。一日一日暖くなる今回は、「めぶく」をテーマに4市町村をめぐります。

●今月のテーマ **めぶく**



館報・広報

ひもといてみれば



⑧

平成12年11月号 星野富弘花の詩画展
平成15年12月号 相田みつを展

この3月5日で、47年以上の町としての歴史を閉じ、新生上田市として新たな出発をする真田町。

町の誕生当時から16年間発行されていた「公民館報さなだ」と、昭和46年から発行さ

れた「広報さなだまち」から、印象深い出来事があった号をひもときます。今月で、この企画は最終回です。

多くの人が町外から訪れ、文化の真田町を全国にアピ―



「星野富弘花の詩画展」の様子を伝える平成12年11月号。このときの入場者数は、1万9093人だった。

ルしたイベントが、平成12年の「星野富弘花の詩画展」と、平成15年の「相田みつを展」でした。

平成12年11月号と、平成15年12月号をひもといてみます。

12年11月号の見出しは「やさしい心を伝えたい」。800人のボランティアが支えた16日間の開催。」で、多くのボランティアにより運営されたことを伝えています。

そして、副実行委員長で、平成10・11年度の町の婦人会長を務めた清水淑江さん（下原）にインタビューしています。以下その部分です。『婦人会では、星野さんの詩画展を真田町で開くことができました。…と活動してきました。しかし、声を大きくしても、婦人会だけで開催できることではありませんでした。町や

大勢の皆さんの理解で開催できたのだと思います。実行委員会でこれだけの催しを行うのは初めてでした。でも、ボランティアの人たちが一生懸命で、ありがたかったですね。』

このイベントの入場者数は、1万9093人でした。

15年12月号は、『この17日に会場を訪れた人は、町の内外を含めて延べ1万9541人を記録しました。これは、1年間に町の文化会館を利用する人のおよそ75%に当たる数字で、県内初の本格的な作品展であったことなどにもよ



「相田みつを展」の様子を伝える平成15年12月号。このときの入場者数は1万9541人だった。

る関心の高さを物語る結果となりました。』と伝え、来場者アンケートに書かれたメッセージも、次のように紹介しています。『今日は休みをとって、楽しみに出かけて来ました。ありがとう、子育て最中の私に、力強く響く言葉たち。私の一番好きなひと言は、『しあわせはいつも、自分の心がきめる』です。これから、私なりの、私の心のままのしあわせを、見つめ続けていきたいと思っています。（佐久市 47歳・女性）』と伝えて

あの人 を訪ねて ⑦8

全国中学校スキー大会 出場の 菅平中の4人



下平悠生さん（右端3年）

山崎大喜君（右から2番目2年）

真田ひばりさん（左から2番目2年）

蓮見小奈津さん（左端1年）

1月に志賀高原などで行われた県中学校スキー大会を突破して、全国中学校スキー大会への出場を決めた菅平中学校の生徒4人が、1月31日、箱山町長を訪ね、大会への出場を報告しました。

全国大会への出場を決めたのは、クロスカントリー女子3kmフリーの下平悠生さん（3年）、スペシャルジャンプとノルディック複合の2種目の山崎大喜君（2年）、アルペン女子大回転と回転の2種目の真田ひばりさん（2年）、同じくアルペン女子大回転と回転2種目の蓮見小奈津さん（1年）の4人です。

4人は全国大会への抱負を一人ずつ町長に話し、下平さんは、「出場できなかった仲間の分も精一杯走ってきたと思います。今までの練習の成果が100%出せるようにがんばってきたい」。山崎君は、「県大会では、くやしい思いをしたので、全国大会では、自分のベストを尽くしたいと思っています。ベストを尽くせば

結果はついてくると思うので、がんばりたい」。真田さんは、「感謝の気持ちを忘れず滑ってきた。県大会では、納得のいく滑りでは、なかったたので、全国大会では、納得のいく滑りをして、優勝を目指したい」。蓮見さんは、「思いっきり攻めて、自分の最高の滑りをしてきたい」と力強く抱負を語りました。



4人は、県大会の結果や、全国大会への抱負などを箱山町長に話した。

箱山町長は、「スポーツは、失敗を恐れず思い切つてやるのが大事、結果はついてくるので、皆さんのがんばりに期待しています。スキーの菅平を全国に知らしめてきてください」と激励していました。

4人は、2月5日から8日まで新潟県妙高市で行われた全国大会に出場。それぞれ健闘しました。

お知らせ

体育施設の利用について

3月6日に新上田市になることに伴い、各学校の体育館とグラウンドの予約方法が変わります。

教育委員会へ団体登録申請をしていただき、認められた団体のみが使用可能となります。

町民体育館と山村運動公園内体育施設、洗馬川運動公園グラウンドについては、18年度中は今までどおりです。

申込日から1ヶ月先まで電話予約できますが、使用する1週間前までに使用許可申請を提出してください。

詳しくは、教育委員会スポーツ振興係まで。

○問い合わせ先

教育委員会 スポーツ振興係

有線2244

☎72-2655

体育施設はきれいに使おう！

寒気もゆるみ、町の体育施設を利用し運動をする人が増えてきました。

体育施設は、大勢の皆さんが使う公共の場所です。ルールを守り、皆さんが気持ちよく使用できるようお願いします。

また、各施設にある用具についても、皆さんが使用するものですので大切に使用し、必ずもとあった場所に戻してください。

姉妹町児童間

スキー交流

姉妹町である九度山町から、九度山町内4小学校から応募のあった小学5・6年生の子供たち74名が2月11日（土）、12日（日）の2日間真田町にやってきました。

今年で4回目となるこの交流事業は、菅平小学校の4・5・6年生と一緒にスキーをしながら交流を深める事業です。

1日目は、ほとんどが初心者の方の九度山町の子供たちが、晴天の中元氣いっぱいスキーを楽しんでいました。

2日目は、真田氏本城跡、真田氏歴史館を見学し、ゆきむら夢工房でそば打ちを体験しました。



オオマツスキー場でスキーを楽しんだ

高等学校通学費等の補助金
申請手続きについて

高等学校等に通学する生徒の保護者に対して、通学費等の負担軽減を図るため、次のとおり補助金を交付しています。

補助対象地域・対象者及び金額

菅平・大洞・渋沢・上大日向・大日向宮前・松井新田・入軽井沢・大倉・三島平・穴沢地域

補助対象地域から、高等学校、国立長野工業専門学校および中学校卒業を入学資格とする高等専修学校に就学している生徒の保護者。通学方法については問いません。下宿も含まれます。

菅平地域……………月額5000円
大洞地域……………月額4000円
渋沢地域……………月額3000円
上記以外の地……………月額2000円

申し込み方法

平成18年4月24日（月）までに教育委員会（3月6日以降は真田地域教育事務所となります）へ申し込んでください。申請用紙は教育委員会にあります。

支払い方法

年2回払い。前期分は10月、後期分は3月に口座振込みでお支払いします。

ご不明な点は教育委員会学校教育係（有線2043／☎72-2655）までお問い合わせください。

3月の図書館だより

開館時間延長のお知らせ

新上田市発足に伴い、3月7日（火）から平日の開館時間が延長され、次のように変更となります。お仕事帰りにご利用になつてはいかがでしょうか。

平日の開館時間

午前9時から午後6時30分

（なお、土曜・日曜の開館時間は、午前9時から午後5時までと従来どおりです。）

合併後もこれまでのように、エコール加入図書館から借りたい図書を取り寄せることもできますし、利用者カードもそのまま使用できます。

真田町にも移動図書館が

5月の連休明けから真田地域にも移動図書館がやってきます。菅平方面、傍陽方面のルートで各1回を予定しています。なお、詳しいことは決まり次第、図書館や有線放送などで皆さんにお知らせします。

今月の休館日

整理休館 1日（水）

月曜休館 6日・13日・20日・27日

祝日休館 21日（火）

月末および年度更新のための休館31日（金）・4月1日（土）

今月の「お話し広場」

日時 3月18日（土）午前10時～
場所 児童図書室
担当 傍陽子ども文庫のみなさん

大会結果

シユナイダー記念スキー大会
ノルディックシリーズ

第47回菅平シユナイダー記念スキー大会ノルディックシリーズ（スベシャルジャンプ兼県小ジャンプ・コンバインド・クロスカントリー総合スプリント競技）が2月18日、19日に行われました。

また、3月9日から11日までアルペンシリーズが行なわれます。

真田町関係選手の主な成績は、次のとおりです。

《スベシャルジャンプ》
小学生5・6年の部
第5位 伝田 翁玖（菅平小）
第6位 松本 真士（菅平小）
《県小ジャンプ》
小学生5・6年の部



ゆきむら夢工房でそば打ちを体験

内容 絵本や物語の読み聞かせ
おすすめの一冊

「いろんな色のインクで」 丸谷才一
読書通には、たまらない書評集。ホメロス・ジョイス・クンデラ・藤原定家・村上春樹・・・丸谷節をたっぷり堪能して、読書の海に溺れてみませんか？

新着本の紹介

「金いろの自画像」 平塚らいてう
ことばの花束（NPO法人「平塚らいてうの会」の米田佐代子さんからご寄贈いただきました。）
「中年よ！大志を抱け！」 堀田 力
「日本が犯した七つの大罪」 櫻井よしこ

「こまった人」「まともな人」 養老孟司
※先ごろ開催された「文化講演会シリーズ」講師の先生方の本です。

真田町図書館は児童図書室が充実しています。新市のお友達を誘って楽しんでみませんか。
「とってもいいこと」

内田麟太郎・荒井良二
「とうちゃん、おかえり」
村中李衣・あべ弘志
「ながさきくんち」 太田大八

平塚らいてうの会が
町に図書を寄贈

平塚らいてう（「らいてう」は「らいちよう」と読みます）は、「元始



平塚らいてうの会のみなさん

女性は太陽だった」の言葉で有名な女性活動家です。彼女の意志を継ぎ、この5月に四阿高原に「らいてうの家」を開館するNPO法人平塚らいてうの会から、町の図書館に数百冊にも及ぶ貴重な本を寄贈していただきました。

これらの本は、会の前代表、故・小林登美枝さんの蔵書で、ご遺族かららいてうの会に寄贈されたもののほとんどを、町のためにと寄贈くださいました。特に女性史を研究していた小林さんですが、いただいた図書は女性史はもちろん、女性の労働に関わるものなど、多岐にわたっています。町では、合併後に建設予定の新しい図書館で、蔵書の目玉として皆さんのご利用に供したいと考えています。

第3位 伝田 翁玖（菅平小）
第4位 松本 真士（菅平小）
《コンバインド》
小学生5・6年の部
第3位 伝田 翁玖（菅平小）
《クロスカントリー総合スプリント競技》
中学生男子の部
第1位 佐藤 利樹（菅平中）
第4位 立花 遼（菅平中）

平成18年度
真田町公民館
行事カレンダー

4月29日 ふるさと再発見ウォークラリー
5月14日 体育祭
7月上旬 陸上記録会
7月上旬 福岡県岡垣町ホームステイ交流（訪問）
8月20日 分館対抗球技大会
8月下旬 小学生水泳記録会
9月 ふれあい夢コンサート
10月15日 駅伝大会
11月3日 公民館舞台発表会
11月3～5日 公民館総合文化祭
11月上旬 少年スポーツ大会
1月上旬 少年柔剣道大会
3月上旬 分館対抗卓球大会
3月中旬 シユナイダーアルペン大会
※開催日は予定ですので、変更される場合があります。なお、この他、さなだスポーツクラブでは各種大会、教室の開講を予定しています。



生活情報

Information

新市での市営住宅 入居者募集

募集团地 3月20日(月)に公表
します。(申込書配布も同じです)
受付期間 3月27日(月)～3月
31日(金)まで
入居者決定方法 公開抽選
抽選会 4月11日(火)上田市民
会館2階大会議室
問い合わせ 建設課管理地籍調査
係 有線2089 ☎72—4331

不動産評価の 無料相談会を開催

不動産鑑定士が売買、交換、相
続、借地、担保、賃貸借などの不
動産評価に無料でお答えします。
日時 4月3日(月)午前10時～
午後4時
場所 上田商工会議所4階第1会
議室
問い合わせ (社)長野県不動産
鑑定士協会 ☎026—225—5228

どんぐりの会の 入会者を募集

親子が楽しくふれあう場「どん
ぐりの会」では、4月からの入会
者を募集しています。未就園のお
子さんをお持ちのみなさん、一緒
に楽しみませんか？お気軽にご参
加ください。
日程 4月25日(火)開講(月1、
2回開催の予定)
場所 保健センター他
時間 午前10時～11時30分
年会費 1200円(途中入会
は月1000円で計算、二人目以降は
半額)

保険料 一人500円/年(途中
入会も同じ)
締め切り 3月31日(金)
※開講に間に合わない場合でも、
随時募集しています。見学も可能
です(保険はききません)。
問い合わせ どんぐりの会
細田 有線5673 ☎72—3115
宮原 ☎73—3907

たんぽぽ文庫 会員募集

本が好きな方、子育て中のお母
さん、たんぽぽ文庫に入って、た
くさんの本とふれあいませんか。
入会は随時受け付けています。
年会費 1家庭300円
申込・問い合わせ たんぽぽ文庫
福田 ☎73—2533

上田真田まつりで江戸芸 かっぱれを踊りませんか

4月29日開催の上田真田まつり
で小粋な「江戸芸かっぱれ」で、
一緒にパレードしませんか。まず
は、練習にご参加ください。
練習 4月1日(土)・15日(土)
午後3時～5時 上田市中央公民
館(Tel22—0760)
4月19日(水)・26日(水)午
後6時～8時 上田商工会議所
(☎22—4500)
問い合わせ 梅后流江戸芸かっぱ
れ信州上田道場 岡崎☎22-9696

中部電力からの お知らせ

転居による電気の使用開始・廃
止のお申込は電話か、ホームペー

ジで早めの手続きをお願いします。
申込先 ☎84—2100(中部電力受
付センター)平日8時30分～17時
10分受付 ※3月18日(土)～4月
1日(土)は、土・日・祭日も受付。
ホームページ(http://www.chuden.
co.jp)は、引越し予定日の2日前
まで受付。

お申込の際は、「お客様番号」が
記載された「電気ご使用量のお知
らせ」「電気料金領収証(または振
込票)」をお手元にご用意ください。

上田市ことぶき大学 新入生募集

60歳以上の方を対象に、月1回
で、4年間、一般教養(自然・歴
史・文学・時事・健康管理等)と
クラブに分かれての選択学習(民
謡・書道・俳画・詩吟・手芸・カ
ラオケ・ダンス・ニュースポー
ツ)を学ぶ上田市ことぶき大学の
新入生を募集します。

受付日時 3月24日(金)午前9
時30分～10時まで ※申込みの
受付は、中央公民館校(50人)創
造館校(35人)別に行います。
受付場所 上田市中央公民館(創
造館校希望者も同じ)
※本人が直接来館して下さい。事
前に願書の配布、受付はしませ
ん。当日、希望者多数の場合は抽
選で入学決定します。

入学資格 新上田市内在住の60歳
以上の方(但し、ことぶき大学卒
業生及び上田市高齢者学園と長野
県老人大学在籍者は除く)
受講料 年間1000円(選択学習
での費用は別途自己負担です。)
問い合わせ 上田市中央公民館
☎22—0760

上田市ことぶき大学 大学院入学生募集

月1回で2年間の上田市ことぶ
き大学大学院入学生を募集します。

募集内容 文系コース…「世界は
いま、そして日本は」のテーマで、
世界そして日本の政治・経済情勢
を中心に新聞記事を活用しての講
義とゼミ 定員30人
理系コース…自然と人間・環境問
題等についての講義かゼミ、及び
臨地研修 定員30人
応募資格 次の①②の両方に該当
する方。①新上田市在住の60歳以
上の方。②上田市ことぶき大学・
上田市高齢者学園・県老人大学の
卒業予定者と卒業生。また、短大、
大学を卒業した方も応募できます。
経費 受講料 年間1000円
諸経費 年間1000円
会場 上田市中央公民館
申込方法 3月6日(月)～31日
(金)までに本人が上田市中央公
民館窓口へ申し込みください。
(定員になり次第締め切りです)
問い合わせ 上田市中央公民館
☎22—0760

新市広報5月号の 短歌、俳句、川柳を募集

新市広報5月号に優秀作品を掲
載する短歌、俳句、川柳を募集し
ます。あなたの作品が広報に載る
かもしれません。ご応募ください。
投稿方法 ハガキで①短歌、俳句、
川柳の別②住所③氏名④区名を記
入ください。氏名・作品内の漢字
にはふりがなをつけてください。
応募宛先 〒386-0025 上田市天
神2-4-74上田市教育委員会「広報
うえだ」係 5月号締め切り 3月
23日(木)必着
問い合わせ 上田市教育委員会教
育総務課 ☎23-5100

合併記念行事 幻の上田ロケ映画上映会

「昭和の青春」が描かれた貴重な
作品の上映会にお越しください。
日程 3月25日(土)…「愚弟賢

兄」1953年松竹制作・93分モノ
クロ・監督：野村芳太郎・出演：
高橋貞二、三橋達也、月丘夢路、
笠智衆
3月26日(日)…「スター誕生」
1963年松竹制作・90分カラー・
監督：酒井欣也・音楽：神津善
行・出演：江利チエミ、藤山寛美、
清川虹子
上映時間 両日とも午後1時から
と3時からの2回
入場料 1回500円
問い合わせ 上田市マルチメディ
ア情報センター ☎39—1000

乳幼児健康診査と 予防接種

(3月6日～4月5日)
お誕生相談 3月9日(木)午前
9時～9時30分受付
場所／保健センター
対象／17年1～3月生まれ
ベビー相談・BCG接種 3月10日
(金)午後1時～1時40分受付
場所／保健センター
対象／17年12月・18年1月生まれ
乳児健診 3月17日(金)午後1
時15分～1時40分受付
場所／保健センター
対象／17年5・8・11月生まれ
麻しん・風しん 4月
場所／本原医院・小林医院
対象／17年1月～3月生まれ
この日程で都合が悪い方は、上田
市内の医療機関でも受けられます。
各医療機関に問い合わせください。
問い合わせ 保健センター
有線2053 ☎72—9007

行政相談、心配ごと相談
日時 3月25日(金)午前9時～
正午
場所 福祉センター
問い合わせ 生活環境係
有線2046 ☎72—0154
または社会福祉協議会
有線2007 ☎72—2998



「珍真田太平記」は、今月号で最
終回となります。長い間、皆様方
からご愛顧をたまわりまして大変
ありがとうございました。





平成19年1月1日から 区長会組織は 統合の予定です

3月6日に上田市、丸子町、真田町、武石村が合併することから、上田市の連合自治会と3町村の区長会では、合併後の連合自治会と各区長会の組織について検討を重ねてきました。

その結果、この四つの組織を、平成19年の1月1日をもって統合することになりました。

真田町では、昨年の清水潤区長会長と副会長などによる「組織検討委員会」で検討を進めてきて、今年度の佐藤博会長を中心とする新委員会に引き継ぎました。この検討会では、統合後の真田地区の区長会の組織や名称、運営方法について検討していく予定です。

問い合わせ 地域振興課
有線2015 ☎72—2202

農地へ、 家屋解体木くずチップは 使用できません。

木くずチップは、その利用によって環境への影響等を防止する必要があります。下記の事項を守って使用するようにお願いします。

●木くずチップについて

①農地に家屋等の解体木くずチップは使用しないこと。

②木くずチップに防腐剤等、農地や生活環境に悪影響を及ぼす薬剤が含まれていないこと。

③木くずチップに金属、プラスチック等異物が混入していないこと。

④木くずチップの大きさはおおむ

ね10cm以下とすること。

●農用地等への利用について

農地及びその周辺へ木くずチップを敷設する場合は、厚さ10cm（ブルーベリー畑においては15cm）程度までとする。

詳細は、農林係または、生活環境係へ問い合わせください。

問い合わせ 農林係 有線2024 ☎72—4330 生活環境係 有線2046 ☎72—0154

人間ドック補助金の 申請書と窓口が 変更されます

3月6日の市町村合併に伴い、人間ドック補助金の申請書が変更になります。

人間ドックの受診日に関わらず3月6日以降に申請する場合は新しい申請書をお使いください。新しい申請書は役場保健センター及びJA信州うえだ菅平支所に備え付けてあります。

なお、4月1日以降は窓口が変更となり真田地域自治センター（旧真田町役場）の市民生活課市民係が窓口となります。

補助金額の変更については広報2月号8ページをご覧ください。

問い合わせ 3月31日まで 健康推進係 有線2053 ☎72—9007 4月1日から 市民生活課市民係 有線2002 ☎72—0154

あなたです 火のあるくらしの 見はり役

春の火災予防運動が、3月1日

から7日まで行われます。

住宅防火4つの対策

① 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。

② 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。

③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。

④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候を迎えます。火の取扱いには充分注意し、火災予防にご協力ください。

問い合わせ 真田消防署
有線2009 TEL72—0119

新規就農希望の方に サンデー就農相談会を 開催します

上小管内で、就農を希望するUターン者、農家子弟、新規参入者等の方を対象に、日曜日に就農相談会を開催します。就農計画をうかがい、必要な情報の提供や相談を受けます。

日時 3月5日（日）、19日（日）
午前9時～午後5時

場所 上田消費生活センター

相談内容 ①就農希望に対する相談②就農、農業研修に必要な情報の提供③その他就農するために必要な事項

※4月以降も開催します。事前に相談時間を決めたい方は、上小農業改良普及センターまでご連絡ください。

問い合わせ 上小農業改良普及センター ☎25—7156

4月9日(日)は、新上田市の 市長選挙、市議会議員選挙です。

上田市長選挙と上田市議会議員一般選挙は、4月2日（日）告示、4月9日（日）投票の日程で行われます。

新市の市議会議員選挙は、初回の選挙に限り旧の上田市、丸子町、真田町を一つの区域とする選挙区（第1区）定数32と、旧武石村を区域とする選挙区（第2区）定数2の二つの選挙区で行われます。新市の市長、市議会議員を選ぶ選挙です。みんなで投票しましょう。

投票できる方

昭和61年4月10日以前に生まれた満20歳以上の方で、平成18年1月1日以前から、引き続き新上田市の区域内に住民登録がなされ、選挙人名簿に登録されている方が投票できます。なお、3月25日以降に新上田市内で転居の届出をされた方は転居する前の住所地の投票所で投票してください。

入場券

投票所の入場券は、郵送でお届けします。葉書1枚に世帯単位の4人連記となっていますので、一人ずつ切り離して投票所へお持ちください。（入場券が郵送されても、投票日当日に選挙権のない方（新上田市内へ転出した方等）は、投票できません。）

入場券が届かない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録されている方は投票できますので、係員に申し出てください。

投票所

入場券に記載してありますので、事前にご確認ください。

投票できる時間

午前7時から午後8時までです。投票は余裕をもって行いましょう。

投票の順序

はじめに、上田市長選挙の投票、次に上田市議会議員一般選挙の投票となります。

投票の方法

①上田市長選挙…記号式投票ですので、投票用紙に印刷されている候補者名の上欄枠内に、投票所備え付けのスタンプで○印を押して

投票してください。（投票用紙は白色紙に黒刷）

②上田市議会議員一般選挙…自書式です。投票用紙に候補者の氏名を書いて投票してください。（投票用紙は桃色紙に赤刷）

自分で書けない方は

代理投票の制度があります。秘密は厳守されますので、投票所係員に申し出てください。

目の不自由な方は

点字で投票ができます。投票所係員に申し出てください。

期日前投票をご利用ください

投票日に仕事があったり、旅行などで出かける方のために期日前投票の制度があります。

場所

真田地域自治センター（旧真田町役場）をはじめ、上田市福祉会館2階や、新市の各地域自治センター（武石地域自治センターは除く）で投票することができます。

期間

4月3日（月）から4月8日（土）まで
※告示日の4月2日（日）は投票できません。

時間

午前8時30分から午後8時まで

持ち物

入場券（届いている場合）



MNさなだ ゆうほう番組表 (3/6~4/5)

放送時間は、夕方6時30分～（再放送は翌朝6時～）となります。おはなしの世界へは、夕方5時～

日	曜	番 組 名	／ 出 演 者
7	火	駐在所だより	／真田駐在所
9	木	身近な税の話「消費税・地方消費税の確定申告は正しく期限内に」	／上田税務署
11	土	おはなしの世界へ「みてはいけないざしき」	／おとぎの会 松沢 悦子さん
14	火	生活のしおり	／J A長支所増田生活指導員
15	水	図書館の窓	／図書室
16	木	さなだ通信	／町内から
18	土	おはなしの世界へ「ずいといんさん」	／おとぎの会 一之瀬 とく子さん
19	日	みんなの食生活	／保健センター山崎栄養士
21	火	みんなの健康 「平成18年度各種検診について」	／保健センター保健師 宮入 裕子
23	木	農業アドバイス	／上小農業改良普及センター
25	土	おはなしの世界へ「あなのはなし」	／おとぎの会 佐納 あずささん
28	火	庭木の管理	／真田町造園協同組合 堀内久夫さん
30	木	公民館だより「平成18年度の公民館学級の募集について」	／生涯学習係
1	土	おはなしの世界へ「八郎」	／おとぎの会 小林 彰さん
4	火	生活環境係から	／生活環境係

水道工事当番店

3月～4月中旬までの水道
工事当番店です。

工事店名	月 日	3 月	4月
(株) カ ナ イ ☎72-2118		* *	24 6
(有) 駒 屋 商 店 ☎72-3696 (☎73-2537)		* 11	25 7
(有) 真 田 建 設 ☎72-2019 (☎72-2393)		* 12	26 8
石 巻 設 備 ☎73-2021		* 13	27 9
(有) 長 崎 商 店 ☎73-2511		1 14	28 10
(株) ア サ ヒ 興 業 ☎72-3414 (☎72-4646)		2 15	29 11
(有) ド ー ム 管 工 ☎72-0771		3 16	30 12
山 崎 設 備 工 業 (有) ☎27-5558 (☎72-2322)		4 17	31 13
(有) 信 濃 空 調 ☎72-5706		5 18	4/1 14
若 林 設 備 工 業 所 ☎72-3166 (☎72-4313)		6 19	2 15
イ チ ノ セ 管 工 ☎72-3000		7 20	3 16
浅 間 設 備 (株) ☎25-0138 (☎72-3938)		8 21	4 17
菅 平 設 備 ☎74-3933		9 22	5 *
岩 淵 住 設 ☎74-4122		10 23	* 18

※（ ）内電話番号は、日・祭日と夜間の番号。
ただし、(有)駒屋商店は、夜間のみの番号です。

めざせ健康 日本一!

18年度検診申込み受付中!!

現在保健センターでは、18年度の各種検診の申込みを受け付けています。受診を希望される方は、各地区の健康推進員から配布された申し込み用紙に記入し、3月15日までに担当の健康推進員に提出してください。

なお、肺の検診、乳房の検診は検査方法が以下のように複数ありますので、それぞれ重複して申し込みをしないようご注意ください。

肺の検診

いずれかひとつ受診

- ① 肺がん検診（レントゲン、40歳以上）
- ② 肺らせんCT検診（40歳以上）
＊長く喫煙されている方におすすめ。
- ③ 結核検診（65歳以上）

乳房検診

いずれかひとつ受診

- ① 乳房検診（視・触診と超音波、30歳以上）
- ② マンモグラフィ検診（40歳以上、18年度偶数年齢になる方）＊乳房のエックス線検査で、より精密な方法です。不明な点は保健センターまでおたずねください。

問い合わせ 有線2053 ☎72-9007

戸籍の窓

ご両親からのメッセージ
元気で明るい子になってね！



赤沢侑亮くんとお母さん

1月届け出分

☆お誕生おめでとう

堀内	花	(秀恵)	行里	表	木
赤沢	侑亮	(善友)	昌香	竹	室
正木	勇太	(一仁)	矢美	菅	平
酒井	颯大	(啓啓)	悟子	菅	平

♡いつまでもお幸せに

(山崎 智博)	下 原
(尾和 清美)	青 木 村
(三井 淳也)	表 木 市
(矢島有紀子)	上 田 市
(竹村 幸則)	菅 平 市
(馬場 泰子)	上 田 市
(高橋 滋)	佐 久 市
(大久保萌美)	大 日 向
(尾崎 直人)	真 田 市
(千野恵理奈)	松 本 市
(渋谷 一雄)	横 尾 町
(池上亜希子)	高 遠 町
(関口誠一郎)	飯 田 市
(関口亜紀子)	辰 野 町

□ごめいふくをお祈りします

大久保とみ	87	町 原
横沢 勝弘	63	竹 室
若林 博昭	78	下 塚
北沢 埤	97	横 尾
押森すみ子	87	萩
倉島しづい	80	角 間
堀内今朝一	83	下横道
丸山 てる	81	上 原
三井けさじ	93	岡 保
大久保しづ子	85	四日市
青木 子朗	70	横 尾

月曜日は午後7時まで！

役場延長窓口(住民票・印鑑
証明・所得証明・納税証明)
をご利用ください。

納税と使用料

3月31日(金)

- ・有線放送使用料
- ・保育料
- ・町営住宅使用料
- ・ふれあいの館利用料
- ・在宅支援サービス利用料

クッキング

No.112

フルーツの白和え

(4人分の材料)

りんご 1個
キウイ 2分の1個
オレンジ 2分の1個
絹ごし豆腐 1パック(300g)
ねりごま 大さじ1
砂糖 大さじ4~5
塩 小さじ2分の1



花岡章子さん(大庭)

著休めや、お茶うけとして、
で、作ってみてください。簡単ですの

(つくり方)

- ①豆腐は、レンジで1分加熱するか、ゆでて、水切りをしておき、それを、すり鉢でよくする。
- ②①にねりごま、砂糖、塩を入れよく混ぜる。
- ③りんご、オレンジ、キウイを、皮をむいて適当な大きさに切る。
- ④②と③を一緒にして、あえて、でき上がり。



カメラニュースは、町の中の様々な出来事や話題をお届けしています。



幸村街道会が恒例の節分豆まき

2月5日、町内24の商工業者が参加する幸村街道会の節分豆まきが行われました。

毎年楽しみに待っている人がいるというかりがね学園などでの豆まきの後、午後3時から荒井のライフそえび広場で、豆まきが行われ、150人ほどが集まりました。
袴や鎧をつけた年男年女や会員による豆まきの後は、生垣刈機やワインなどが当たる大抽選会が行われ、会場は盛り上がりました。同会会長の堀内幸孝さん（荒井）は、「町が合併しても、街道会では地域が活性化するよう活動していきます」と話していました。



真田中の2年生が立志式 将来への希望と決意を自覚

2月3日、真田中学校で、2年生の立志式が行われました。

今年で4回目になる立志式は、自分の将来への希望と決意を持つと行われるもの。式では、信州真田六文銭太鼓で活動したり、武道のテコンドーを習う生徒、また、吹奏楽部生徒の金管八重奏の特技発表が行われました。その後、各クラス代表の決意発表が行われ、1組の佐藤綾香さんは、「介護福祉士になりたい」。2組の大久保翔平君は、「よく考えて行動していきたい」。3組の丸山大馬君は、「ボランティアに積極的に参加したい」など、決意を発表しました。

この後、モントリオール五輪女子バスケットボール代表選手の藤沢令子さんの講演も行われ、生徒たちは熱心に聞き入っていました。



第22回消費生活展 着物リメイクのファッションショー開催

「未来のこどもたちへ のこそうふるさと真田の自然」をテーマに第22回の真田町消費生活展が、1月21日、文化会館で開催されました。

同展には、消費生活推進委員会をはじめ、町内小中学校など26団体が参加。パネルや展示などで、身近にできる環境への配慮や、安心安全な生活をより充実させる取り組みなどを紹介しました。また、古い着物を作り変えた洋服のファッションショーや悪質商法の寸劇なども行われ、集まった人の注目を集めていました。同実行委員会の

中村さだめ会長（萩）は、「簡単にできることを、ここに来た人から多くの人に伝えればと思います」と話していました。



広報さなだまちが長野県総合1位に

このほど平成17年長野県市町村広報コンクールの結果が、県から発表され、広報さなだまちが、広報紙町村の部で1位の最優秀賞、さらに、市の部も合わせて1位の総合1位に選ばれました。また、広報写真の組写真部門でも、2位にあたる優秀賞に選ばれました。広報紙で選ばれたのは、昨年11

月号の特集「さなだのこころ」を掲載したもの（写真上）。組写真は、昨年4月号の4、5ページで掲載したスペシャルオリンピックスのホストタウンプログラムの様子を写真で伝えたもの（写真下）です。この結果、広報紙は、日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦が決まりました。

子どもの無病息災を祈る 戸沢のわら馬引きとねじ行事

2月8日、戸沢のわら馬ひきとねじ行事が行われました。

早朝にわらずとに入れたねじを背負わせたわら馬を引いて、道祖神にお参りし、幼子の無病息災を祈るこの行事。道祖神に備えたり、お参りの後に交換するねじは珍しく、「戸沢のねじ行事」として国の選択無形民俗文化財に指定されています。ねじは、こねて蒸かし

た米粉に赤や緑の食紅で彩色し、餡を入れて、木の葉や動物などをかたどった食べ物です。

長女の佐藤レナちゃんが、昨年生まれ、「初市」を迎えた戸沢出身の佐藤寿子さん（埼玉県）は、「母親と一緒にこの道を歩いた記憶があります。この子もいっぱい食べて大きく育ててくれればと思います」と話していました。



1月28日、役場講堂で、これからの地域福祉を、行政と民間サービス機関、住民の協働で、創ろうと「みんなで考えるこれからの地域福祉フォーラム」が開催されました。これは地域生活支援センターえん（大畑）の運営委員会が住民に呼びかけ、実行委員会を組織して開催したものです。フォーラムは、最初にジャ

ーナリストの泉田照雄さんが基調講演。次に、昨年町内で行われた福祉についての住民意識調査の報告が行われました。その後、泉田さんをコーディネーターに、町内への遠距離介護の経験をもつ清水夏江さん（東京都）、真田区の障害者等共同作業所水簾洞の田中綾子さん、下原の大きなあれ保育園長の横沢節子さん、

真田町保育園連合保護者会長の北沢美保さんの4人をパネラーに「合併後の真田地域で望まれる地域福祉像について」と題したシンポジウムが行われました。シンポジウムでは、「これからは、住民が声も、力も、手も出すことが大事」など会場も含め、活発な意見が出され、熱気あふれるフォーラムとなりました。



住民により開催されたフォーラム。会場からも活発な意見が出された。

熱気あふれる議論が 交わされた みんなで考える これからの 地域福祉フォーラム

Town Topics Mar 2006

季節の中で

小学生のころ、真田中の校庭で行われていた体育祭に行つて、グラウンドを囲む各分館を見て、真田町って広いんだと感じました。その真田町も、新上田市へと生まれ変わります。こうして、真田町広報最後の編集後記を書くことに一抹の淋しさも感じますが、広報の仕事を通じて多くの方に出会えることが、何よりの喜びでした。そして、広報さなだまちを愛読していただいた多くの皆様、ありがとうございました。さあ、今までより、もっと広い、もっと多くの人とつくる新上田市へと旅立ちましょう。（なべ）

インターネット情報
<http://www.sanada.or.jp/>
<http://www.town.sanada.nagano.jp/>

わたしたちの町の人口

11,642人（－7）
男 5,752人（＋1）
女 5,890人（－8）
世帯数 3,802戸（＋2）
平成18年2月1日現在（ ）内は前月比